

仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会 講演会「仙台湾岸運河群周辺の地名」

地名はその地域の自然・歴史・文化を伝える大切な遺産で、災害など先人が我々へ伝えるメッセージも含まれていることがあります。今回は運河周辺の地名からその地域の記憶を探ります。

日時 令和5年2月11日(土・祝) 14:00～15:30 (開場13:30)

会場 幸町南コミュニティセンター 多目的ホール ※市ガス局より400m西・イオン向い
(仙台市宮城野区大槻10-27 TEL 022-296-8120)

演題 「仙台湾岸運河群周辺の地名」

講師:太宰 幸子氏(宮城県地名研究会 会長)

参加 募集定員 60名 [申込み期限 2月8日(水) なお定員になり次第締切]

参加費 500円(資料代) 但し本協議会会員は無料

申込内容:氏名・住所(市町村名、但し仙台市は区まで)・電話番号

申込先:〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生字原屋敷30-1(吉田宅)

TEL: 080-3322-1966(ヤマヤ) FAX: 022-262-0379

Mail: sendaiwan.unga@gmail.com

問合せ等:上記の申込先をお願いします。

- その他**
- ・新型コロナの感染状況により中止する場合は連絡します。
 - ・当日は感染対策にご協力ください(発熱者の参加辞退、マスク着用等)。
 - ・交通手段:会場の駐車台数は限りありますのでご注意ください。

市営バス:仙台駅前より鶴ヶ谷7丁目行又は東仙台営業所前行に乗車
「幸町5丁目」下車 (1時間2本運行、仙台駅前から25分、230円)

【講師プロフィール】 太宰 幸子(だざい ゆきこ)

大崎市(旧鹿島台町)生れ。日本地名研究所理事/宮城県地名研究会会長/東北アイヌ語地名研究会会長/みやぎ街道交流会顧問。2015年4月～2022年3月までの水曜日にNHKラジオ「ゴジだっちゃ!」の「おらほの地名」を担当。

<著書>『金属と地名』谷川 健一編 日本地名研究所「地名と風土」叢書(1998年、三一書房)/『「要害」地名調査研究報告書』(2007年、宮城県地名研究会)/『「要害」地名調査研究報告書』(2007年、2008年日本地名研究所・地名研究賞受賞)/『北上川下流の水山』共著(2008年、国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所)/仙台・江戸学叢書14『仙台北城下の地名』(2008年、大崎八幡宮)/『みやぎ地名の旅』(2011年、河北新報出版センター)/『地名は知っていた・津波被災地を歩く 上・下巻』(2012年、河北新報出版センター)/『みやぎのアイヌ語地名』(2020年、河北新報出版センター) ほか



木曳堀(岩沼市HP)



新堀(撮影:清本)



御舟入堀(多賀城市観光協会HP)



東名運河(運河事典HP)



北上運河(運河事典HP)

仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会は、仙台湾岸の運河群[木曳堀・御舟入堀・新堀(以上は貞山運河(堀)ともいう)、北上運河、東名運河]の正しい歴史とその地域の記憶を伝えるため令和4年5月28日に発足しました。会員状況(8月末現在):正会員、賛助会員、その他会員 計41名 [入会希望者歓迎]

【事務局】 仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会 (略称:仙台湾運河群歴史協議会)

〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生字原屋敷30-1(吉田宅)

TEL: 090-5599-7619(吉田)

Email: sendaiwan.unga@gmail.com